

玄海原子力発電所の運転状況等について

2026年8月17日
九州電力株式会社

目 次

1. 玄海3, 4号機 運転状況
2. 放射性廃棄物の放出状況
3. 玄海1, 2号機 廃止措置の実施状況

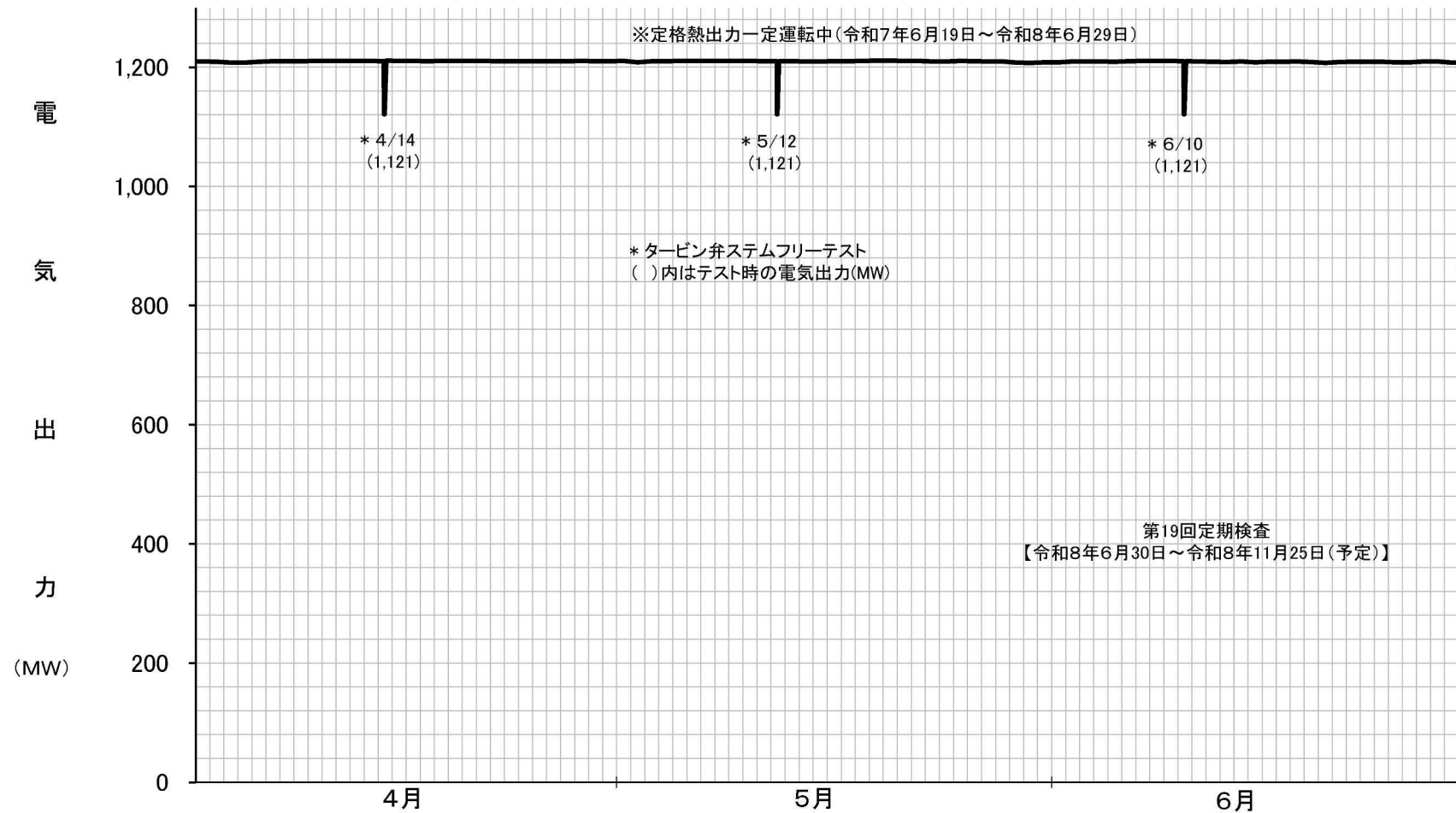


1. 玄海3, 4号機 運転状況

1-1 . 玄海3号機 運転状況

(1) 3号機

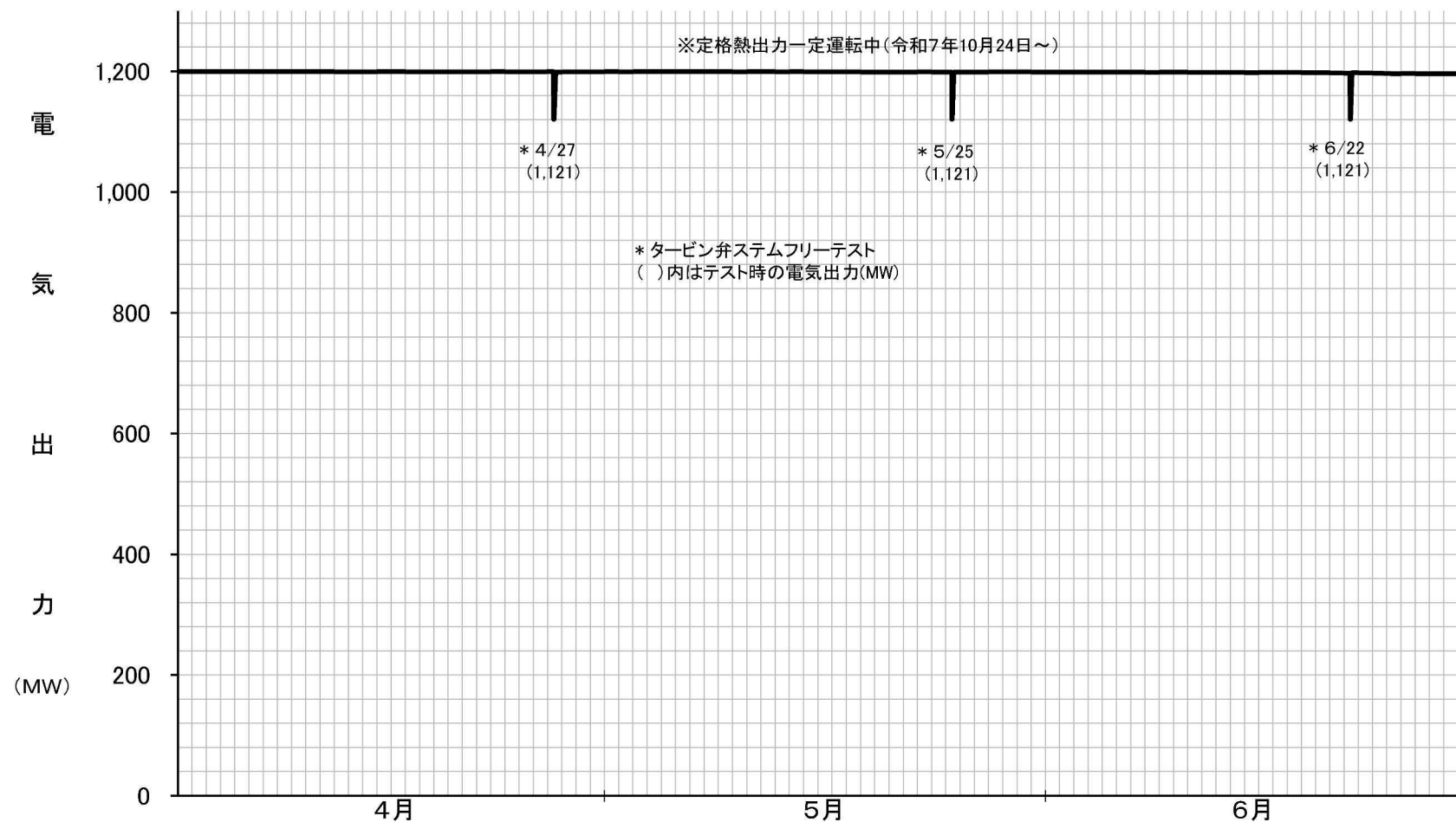
令和8年6月30日から第19回定期検査のため停止



1-2. 玄海4号機 運転状況

(2) 4号機

令和7年11月14日から通常運転中



2. 玄海原子力発電所の状況について(2026年1月～)

	2026年							
	1	2	3	4	5	6	7	8
3号機 (118万kW)							6/30 発電停止 ▼	8/17現在
	通常運転						第19回定期検査 (6/30～11/25予定)	
4号機 (118万kW)								
その他	2/4▼ 玄海3, 4号機原子炉設置変更許可 (主変圧器及び所内変圧器更新)							
	3/4▼ 玄海3号機 長期施設管理計画変更認可申請							
その他	5/13▼ 玄海4号機 原子炉容器上部ふた取替方針公表							
	6/10▼ 玄海 原子炉設置変更許可申請 補正書提出 (基準津波及び基準地震動に係る記載内容の充実)							
その他	6/26▼ 玄海3号機 長期施設管理計画変更認可							
	7/2▼ 玄海4号機 長期施設管理計画認可申請							
その他	1/25～2/5 低レベル放射性廃棄物搬出 日本原燃(株) 低レベル放射性廃棄物埋設センター (青森県六ヶ所村)へ (ドラム缶:1,168本)							
	4/23～4/30 玄海3号機 新燃料40体搬入 三菱原子燃料(茨城県 東海村)から							
その他	4/5～4/8 玄海3号機 新燃料64体搬入 玄海4号機 新燃料8体搬入 原子燃料工業(大阪府 熊取町)から							
	6/30～11/25 第2四半期予定※							
その他	7/2～11/25 第2四半期予定							
	7/2～11/25 第2四半期予定							
その他	11/21～2/11 使用済燃料126体運搬 (4号→3号)							
	7/2～11/25 第2四半期予定							
その他	7/2～11/25 第2四半期予定							
	7/2～11/25 第2四半期予定							

※当初の計画においては「第1四半期」に搬出する予定としておりましたが、搬出に係る委託業者の書類に不備があり、船の手配や諸手続きを再度行う必要が生じたため、輸送時期を「第2四半期」に変更しました。



2. 放射性廃棄物の放出状況

2. 放射性廃棄物の放出状況

1 / 4

(1) 気体廃棄物の放出量

①第1四半期（令和8年4月～6月）

（単位：Bq）

	全希ガス	^{131}I	全粒子状物質	^3H
1号機	ND	—※	ND	4.3×10^9
2号機	ND	—※	ND	3.5×10^9
3号機	ND	ND	ND	1.3×10^{11}
4号機	ND	ND	ND	8.6×10^{10}
焼却炉	ND	ND	ND	2.9×10^7
計	ND	ND	ND	2.3×10^{11}

※1号機、2号機は廃止措置第2段階より監視対象外

（注1） 放射性気体廃棄物の放出量(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に排気量(cm³)を乗じて求めている。

算出にあたり、放出放射能濃度の測定結果が検出限界未満の場合、放出量(Bq)はNDと表示する。

なお、それぞれの検出限界濃度は次のとおり。

- ・ 全希ガス 2×10^{-2} Bq/cm³ 以下
- ・ ^{131}I 7×10^{-9} Bq/cm³ 以下
- ・ 全粒子状物質 4×10^{-9} Bq/cm³ 以下（ ^{60}Co で代表した値）
- ・ ^3H 4×10^{-5} Bq/cm³ 以下

2. 放射性廃棄物の放出状況

2 / 4

②年度累計（令和8年4月～令和8年6月）

（単位：Bq）

	全希ガス	^{131}I	全粒子状物質	^3H
1号機	ND	—※	ND	4.3×10^9
2号機	ND	—※	ND	3.5×10^9
3号機	ND	ND	ND	1.3×10^{11}
4号機	ND	ND	ND	8.6×10^{10}
焼却炉	ND	ND	ND	2.9×10^7
計	ND	ND	ND	2.3×10^{11}
放出管理目標値 (Bq/年)	1.0×10^{15} (注2)	3.0×10^{10} (注2)	4.4×10^7 (注3)	—

※ 1号機、2号機は廃止措置第2段階より監視対象外。

（注1） 放射性気体廃棄物の放出量(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に排気量(cm³)を乗じて求めている。

算出にあたり、放出放射能濃度の測定結果が検出限界未満の場合、放出量(Bq)はNDと表示する。

なお、それぞれの検出限界濃度は次のとおり。

- ・ 全希ガス 2×10^{-2} Bq/cm³ 以下
- ・ ^{131}I 7×10^{-9} Bq/cm³ 以下
- ・ 全粒子状物質 4×10^{-9} Bq/cm³ 以下（ ^{60}Co で代表した値）
- ・ ^3H 4×10^{-5} Bq/cm³ 以下

（注2） 3，4号機の合計

（注3） 1，2号機の合計

2. 放射性廃棄物の放出状況

3 / 4

(2) 液体廃棄物の放出量

①第1四半期（令和8年4月～6月）

（単位：Bq）

	^3H を除く核種	^3H （うち2次冷却水系からの放出）
1, 2号機	ND	1.5×10^{10} (— ※)
3, 4号機	ND	2.5×10^{13} (ND)
計	ND	2.5×10^{13} (ND)

※1号機、2号機は廃止措置中。

（注4） 放射性液体廃棄物の放出量(Bq)は、排水中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に排水量(cm³)を乗じて求めている。算出にあたり、放出放射能濃度の測定結果が検出限界未満の場合、放出量(Bq)はNDと表示する。

なお、それぞれの検出限界濃度は次のとおり。

- ・ ^3H を除く核種 2×10^{-2} Bq/cm³ 以下（ ^{60}Co で代表した値）
- ・ ^3H 2×10^{-1} Bq/cm³ 以下
- ・ 2次冷却水系の ^3H 1×10^{-1} Bq/cm³ 以下

2. 放射性廃棄物の放出状況

4 / 4

②年度累計（令和8年4月～令和8年6月）

（単位：Bq）

	^3H を除く核種	^3H （うち2次冷却水系からの放出）
1, 2号機	ND	1.5×10^{10} (— ※)
3, 4号機	ND	2.5×10^{13} (ND)
計	ND	2.5×10^{13} (ND)
放出管理目標値等 (Bq/年)	7.4×10^{10}	1.4×10^{14}

※ 1号機、2号機は廃止措置中。

（注4） 放射性液体廃棄物の放出量(Bq)は、排水中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に排水量(cm³)を乗じて求めている。算出にあたり、放出放射能濃度の測定結果が検出限界未満の場合、放出量(Bq)はNDと表示する。

なお、それぞれの検出限界濃度は次のとおり。

- ・ ^3H を除く核種 2×10^{-2} Bq/cm³ 以下（ ^{60}Co で代表した値）
- ・ ^3H 2×10^{-1} Bq/cm³ 以下
- ・ 2次冷却水系の ^3H 1×10^{-1} Bq/cm³ 以下

3. 玄海1, 2号機 廃止措置の実施状況

- 当社は、1号機については2017年7月13日から、2号機については2020年6月29日から廃止措置作業を開始しました。
- 2025年1月29日に、2026年度以降に実施する第2段階の具体的な作業計画等を反映した1, 2号機の廃止措置計画変更認可申請を行い、2026年1月8日に国の認可をいただきました。
- その後作業準備を進め、2026年4月14日から第2段階の作業を実施しています。
- 引き続き、国の認可を得た廃止措置計画に基づき、安全かつ着実に進めてまいります。

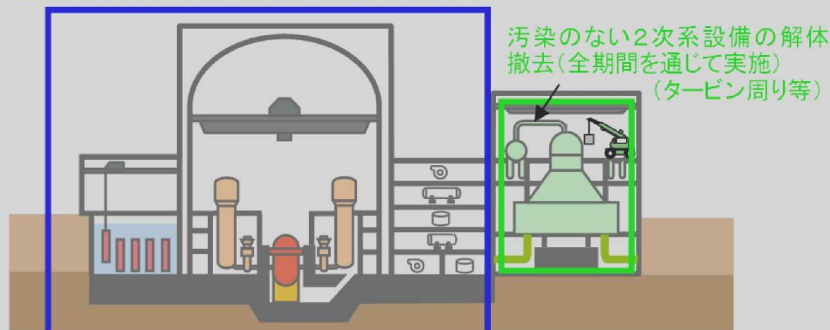
3-1. 廃止措置計画の概要

2 / 2

- 廃止措置は、長期にわたるため、大きく4段階に分けて実施します。
現在、1, 2号機とも、第2段階の「原子炉周辺設備等解体撤去」を実施しているところです。

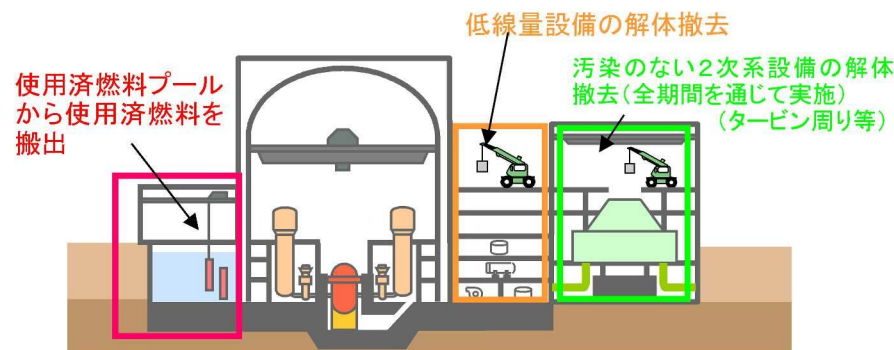
I. 解体工事準備期間 (玄海1号機: 2017年7月13日～2025年度) (玄海2号機: 2020年6月29日～2025年度)

1次系設備の汚染状況の調査範囲(原子炉周り等)



- ・汚染のない2次系設備を解体撤去します。
- ・1次系設備の汚染状況の調査及び汚染除去をします。

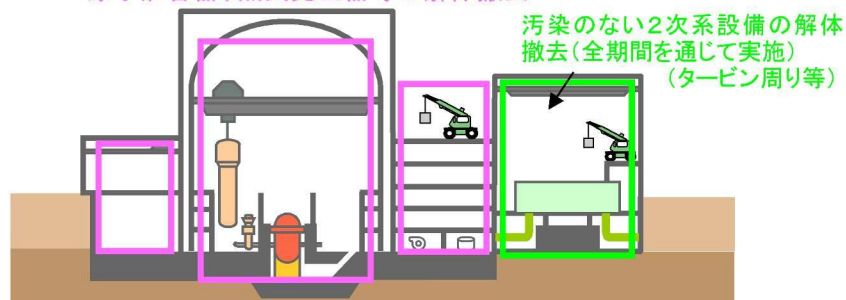
II. 原子炉周辺設備等解体撤去期間 (2026年度～2040年度)



- ・低線量設備を解体撤去します。
- ・使用済燃料の1, 2号機施設外への搬出を完了します。
- ・新燃料の燃料加工メーカーへの譲り渡しを完了します。

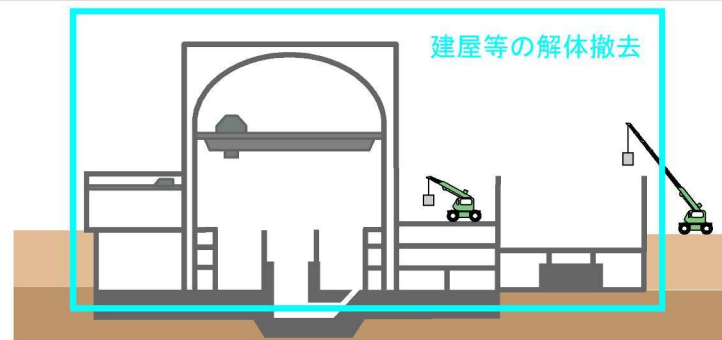
III. 原子炉等解体撤去期間 (2041年度～2047年度)

原子炉容器、蒸気発生器等の解体撤去



- ・放射能の減衰を待って、原子炉容器、蒸気発生器等を解体撤去します。

IV. 建屋等解体撤去期間 (2048年度～2054年度)



- ・建屋内の汚染物を撤去した後、最後に建屋を解体撤去します。

※放射性物質による汚染のない地下建屋、地下構造物及び建屋基礎を除く。

玄海1号機関係

3-2. 玄海1号機の工事工程(原子炉周辺設備等解体撤去期間)

○2026年度から、第2段階の低線量設備及び汚染のない2次系設備の解体撤去を実施しています。

件 名	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	・ ・ ・ 2040年度
廃止措置計画 認可申請	8/17現在					
①低線量設備 の解体撤去	▼4/14 作業開始 低線量設備の解体撤去(原子炉補機冷却水冷却器・ポンプ、使用済燃料ピット冷却器・ポンプ、体積制御タンク他)					
②2次系設備 の解体撤去 (タービン周り等)	▼4/14 作業開始 2次系設備の解体撤去(湿分分離加熱器ドレンタンク、海水ポンプ、高圧／低圧タービン他)					
③使用済燃料 の搬出						
④新燃料の搬出						
設備の性能維持 (定期事業者検査)	7/9 ▼ 第7回					

3-3. 玄海1号機の解体撤去

低線量設備の解体廃棄物（令和8年4月～令和8年6月）

（単位：トン）

種類	発生量		処分		期末 保管量
	発生量	累計発生量※	処分量	累計処分量※	
放射性廃棄物 でない廃棄物	1.0	1.0	0.4	0.4	0.6
放射性物質として 扱う必要のないもの	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
低レベル放射 性廃棄物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
解体保管物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 令和8年4月以降の累計。

汚染のない2次系設備の解体廃棄物（令和8年4月～令和8年6月）

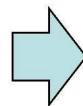
（単位：トン）

種類	発生量		処分		期末 保管量
	発生量	累計発生量※	処分量	累計処分量※	
金 属 類	103.5	2189.3	103.5	2189.3	0
コンクリート類	0.0	47.3	0.0	47.3	0
そ の 他	0.0	168.0	0.0	168.0	0

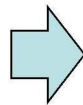
※ 平成29年7月以降の累計。

3-4. 玄海1号機の廃止措置実施状況

○低線量設備のうち原子炉補機冷却水冷却器・ポンプ及び一次系補給水ポンプ他の解体撤去を2026年4月14日から実施しています。



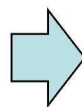
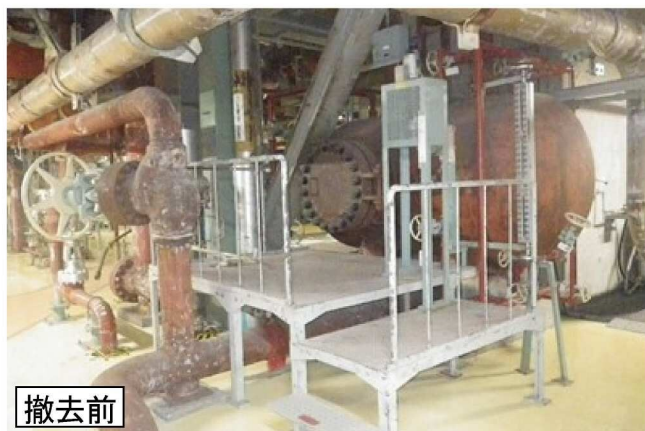
原子炉補機冷却水冷却器・ポンプ



一次系補給水ポンプ

3-4. 玄海1号機の廃止措置実施状況

○汚染のない2次系設備のうち湿分分離加熱器ドレンタンクの解体撤去を2026年4月14日から実施しています。



湿分分離加熱器ドレンタンク

玄海2号機関係

3-5. 玄海2号機の工事工程(原子炉周辺設備等解体撤去期間)

○2026年度から、第2段階の低線量設備及び汚染のない2次系設備の解体撤去を実施しています。

件 名	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	・・・2040年度
廃止措置計画 認可申請	8/17現在					
①低線量設備 の解体撤去	▼4/14 作業開始 低線量設備の解体撤去(燃料取替用水補助タンク、原子炉補機冷却水冷却器・ポンプ、ガス減衰タンク他)					
②2次系設備 の解体撤去 (タービン周り等)	▼4/14 作業開始 2次系設備の解体撤去(湿分分離加熱器ドレンタンク、第1／第2低圧給水加熱器、高圧／低圧タービン他)					
③使用済燃料 の搬出	六ヶ所再処理工場の竣工状況等を考慮し搬出計画を検討					
④新燃料の搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備					
設備の性能維持 (定期事業者検査)	7/9 ▼ 第4回					

3-6. 玄海2号機の解体撤去

低線量設備の解体廃棄物（令和8年4月～令和8年6月）

・解体撤去物の発生・処分なし

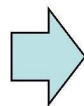
汚染のない2次系設備の解体廃棄物（令和8年4月～令和8年6月）（単位：トン）

種類	発生量		処分		期末 保管量
	発生量	累計発生量※	処分量	累計処分量※	
金 属 類	53.0	2349.2	53.0	2349.2	0
コンクリート類	0.0	143.4	0.0	143.4	0
そ の 他	0.0	205.3	0.0	205.3	0

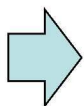
※ 令和2年6月以降の累計。

3-7. 玄海2号機の廃止措置実施状況

○低線量設備のうち洗濯設備の解体撤去を2026年4月14日、燃料取替用水補助タンクの解体撤去を同年4月20日から実施しています。



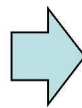
洗濯設備



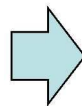
燃料取替用水補助タンク

3-7. 玄海2号機の廃止措置実施状況

○汚染のない2次系設備のうち第3低圧給水加熱器及び湿分分離加熱器ドレンタンク他の解体撤去を2026年4月14日から実施しています。



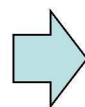
第3低圧給水加熱器



湿分分離加熱器ドレンタンク

3-7. 玄海2号機の廃止措置実施状況

○汚染のない2次系設備のうち排水処理装置の解体撤去を2026年5月21日から実施しています。



排水処理装置